

ニュースレター

いりおもての森から

林野庁 九州森林管理局 指導普及課
西表森林環境保全ふれあいセンター
平成24年12月発行 No.35号



サキシマフヨウ

西表島森林観察会を開催

10月27日(土)に、西表島森林観察会「ウトラ炭鉱跡の周辺植物を観察し、カヌーで森の巨人才ヒルギに会いに行こう!」を西表島巨樹・巨木保全協議会他と共催で開催しました。

石垣島、西表島からの参加者19名(内小学生6名)は、2班に分かれ午前中はウトラ炭鉱跡へ通じる遊歩道を歩きながら各班の講師から周辺に生育する植物について、似た植物の見分け方等について説明を受けながら森林観察を行いました。

午後からは、浦内川支流ウトラ川に生育する森の巨人才ヒルギまでマングローブ林を縫うように流れる川を2人乗りカヌーを漕ぎ講師の説明を聞きながらお目当てのオヒルギを目指しました。

森の巨人才ヒルギに参加者は、こんな大きなオヒルギを初めて見て驚いた等様々な感想を持たれたようです。オヒルギの保全、保護の取り組みについて当センター職員が説明を行いました。オヒルギに触れながら元気でねと話しかける参加者も見受けられました。

亜熱帯の原生的な自然を有する西表島の貴重な森林生態系と生物多様性を、多くの方々に理解し認識を深めて頂くために今後も森林観察会を開催することとしています。



仲間川木道周辺のモニタリング調査を実施



11月2日(金)に仲間川支流の北舟付川(シフナツガ)の木道周辺に設定したマングローブ林のモニタリング調査を実施しました。

調査項目は、立木の生育状況の調査、砂泥の移動状況を調べるための地盤高調査、林内の光環境調査、砂泥地の塩分濃度調査そしてデジカメによる定点観測撮影を実施しました。

今回は春先の調査と比較して各調査結果に大きな変化はみられませんでした。